

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:https://ksvk.jp/
◇郵便局振替口座 / 福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座 / 2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇余暇の視点から
パネルディスカッション

2~3P

北九州市障害福祉ボランティア協会

理事 大曲 千代子

◆あたらしいね!こんなトコ
居酒屋 松風はなれ「夢来人(むらびと)」

4P

◇福祉のまちづくりネットワークプロジェクト
リレーレポート¹⁴

5P

「バリアフリー活動との出会い」その2
金子 祐二

◆MYフレンド
北九州要約筆記サークル月曜会

6P

会長 山下 康子さん

◇「ゆく年 くる年 まごころ募金」
ご協力ありがとうございました!

7P

◆おめでとうございます!!

7P

◇協会カレンダー

8P

座標軸

既にご存知の方もおられるでしょうが、先日、中国湖北省で父親ときょうだいが新型コロナウイルスに感染し一週間前から隔離され、取り残された脳性マヒの少年が死亡し発見されたというニュースです。

記事でしかわかりませんが、唯一の介助者であった父親が「息子が食べ物や水がない状態で1人取り残されているから助けて欲しい」とソーシャルメディアに書き込んだそうです。誰の支援なのかは紹介されていませんでしたが、一週間の間に食事は2回しか与えられていなかったようです。

隣国のこととはいえ、身につまされる思いです。ソーシャルメディアでしか救済できなかったのでしょうか。心が痛みます。

防災への取り組みを我々が行っているところですが、人と人との交流が失われていくとすれば、手助けを求めることもできなくなってしまう。通報することもなくなるでしょう。

目下のところ終息に向かっていますが、自分の身を守ることは当然ですが、自分で身を守ることが困難な方を知る時には何らかの協力をするのは大切なことではないでしょうか。

(K.O)

余暇の視点からII パネルディスカッションII

北九州市障害福祉ボランティア協会 理事 大曲 千代子

12月14日「障害のある人が自分らしく生活するため社会参加をどう支援していくの?」というテーマでパネルディスカッションが開催されました。



当日はコーディネーターの休日支援の会「るんるんクラブ」代表の古賀明氏の進行の下、5人のパネラーから話題提供がありました。

取り組みの現状

「八幡特別支援学校PTA」会長 井上裕美氏からは、お子さんが利用している「放課後等デイサービス」(以下放デイ)や家族での余暇の過

ごし方について紹介がありました。お子さん同士で遊びに行ったり一人で趣味を満喫したりすることが難しいので、本人が楽しめ満足できる時間を過ごせるようにと心を砕いているとのことでした。

「八幡西特別支援学校PTA」会長 中原満智子氏からは、在籍の児童・生徒82名の内、放デイ利用率は通学生の90%であると紹介されました。その後、中学2年のご自身のお子さんが小学校入学時、子どもの状況に合った放デイが見つからず、親子二人で過ごす日々であったこと。現在は放デイの他、卒業後の環境変化の準備のためシヨートステイも利用していると話されました。

学齢期を過ぎた障害のある人の余暇については、「青春大学校」の取り組みを中心に

「手をつなぐ育成会親の会」副会長の國家綾子氏から発表がありました。青春大学校は障害があっても「仲間とふれあい、共に学び、心豊かに暮らして欲しい」という親の思いから平成14年にスタート。親や手をつなぐ育成会職員、教職員等のボランティアに支えられ、やりたいことを形にできたとのことでした。



放デイや生活介護の運営をされている「生活介護さんぽ」管理者の高村壮士氏は

22年間の福祉の現場での経験を中心に自己紹介をされ、生活介護を利用しながら一人暮らしをしている女性や親以外の支援を受けられるようにとヘルパーとの外出を始められた方の事例を紹介されました。

「小倉南障害者地域活動センター放課後等デイサービス事業所」主任 實成郁代氏は学齢期における放課後や休日の過ごし方ということでお話しされました。事業所としては、家庭学校と連携して利用者へ活動の場を提供し一人ひとりに合わせた支援を行うこと。併せて家族のレスパイトケア・就労時間の確保等の役割があり、様々な年齢、障害特性に合わせた活動を提供することが求められているとのことでした。

課題のいろいろ

その後、コーディネーターの求めに応じ、それぞれの立場での「課題」を発表していただきました。

井上氏は保護者の中では習い事やクラブ活動のニーズが高まっていると感じていて、一部の放デイでは、事業の一環として行われているが、更なる活動の広がり期待していると言われていました。

中原氏からは課題というよりも困っていることということで、保護者の要望が多い入浴サービスが放デイの中にはないという現状が話されました。この入浴サービスについては高村氏や實成氏から物理的に設備を作るとすれば高額の投資が必要になるが、人間関係を築く中で、職員と共用することや課題はあるものの家に介助に行かせてもらう、あるいは放デイとは分けて入浴に特化したサービスがあった方がいいのでは…という意見が出されました。

國家氏からは活動を継続していくためにはボランティアの力が不可欠であるが確保が難しい。また、本人が活

動場所に行くための移動支援が不十分などの意見が出されました。

高村氏からは私たちはライフステージが変わる時に役割や立場も変化するが、障害のある人は生活の状況があまり変わらない。ゆえにその過ごし方に本人の意思決定がどれだけ反映しているか気にかかる。また、生活全般に余裕がないと余暇まで考えられない。余裕を生み出すためにはどんな工夫が必要か、と話されました。

実成氏からは利用人数に対しての職員配置はできていないもののマンツーマン対応や個別対応が必要な利用者が多いため活動内容の検討が必要と感じているとのこと。

質問のいろいろ
10分の休憩の後、フロアーからの質問に答えるという形で第2部が始まりました。

高村氏は「支援のし過ぎに注意していることは？」という質問に対し、本人の思いをす

べて汲み取ろうとすると相手のペースに巻き込まれるし、自分のできることは「したい」という本人の意志を大切にしていると答えられました。



國家氏には、「ないものを作るという提案だったが、親の負担が増えるだけではないか」との質問でした。國家氏は一緒に活動している人たちは気心も解っているし活動自体楽しい。自分が楽しいと思えることは長く続けられる、と回答されました。

井上氏にはきょうだい児のかかわりについて質問がありました。きょうだい児も中学

パネルディスカッション アンケート結果

年齢	
10代	1
20代	1
30代	3
40代	22
50代	11
60代	2
70代	2
合計	42

感想	
良かった	24
まあまあ	14
普通	4
あまり	0
良くなかった	0
合計	42

情報入手先(複数回答有り)	
チラシ	10
学校	29
知人	4
所属団体	2
合計	45

属性	
当事者	1
家族	37
支援者	1
家族&支援者	1
無回答	2
合計	42

余暇支援に関心	
はい	33
いいえ	3
無回答	6
合計	42

参加者 60名
42枚回収
(回収率70%)

生になると部活動も始まり、自立してそれぞれの活動をするようになる。それまでは本人が放デイなどのサービスを利用しての間にきょうだい児とゆつくり過ごすことにした、と話されました。

主催者側にも北九州市との連携や「余暇活動」で検索しても断片的な情報しか出てこないという質問がありました。市との連携についてはこの余暇

でも断片的な情報しか出てこないという質問がありました。市との連携についてはこの余暇



最後にコーディネーターの古賀氏は「中心は楽しむ方の意志である。本人の意志を汲み取ることがマンパワーが必要であり、それは限られていく。その都度ニーズを

活動支援者連絡会のネットワークに障害福祉企画課も参画し、情報等の共有や啓発活動を共にしている。また、連絡会では現在、市内で余暇活動支援をしている団体の情報を収集中、市ホームページでの情報提供に向けて準備中である旨を回答しました。

声に出し行動に移し、継続していくことが必要です」とまとめられ、閉会しました。

今回のパネルディスカッションには定員を超える参加者がありました。そして、その中で活発な意見交換も行われましたので、余暇活動に関心のある方々の広がりを心強く感じました。この広がりを障害のある人たちの社会参加にむけた支援の絆として繋げていきたいと思いました。

※アンケート結果の詳細と、パネルディスカッションの結果を受けての令和2年度の活動方針などは、次回掲載の予定です。

あったらイね! こんなトコ

「夢来人(むらびと)」ができた! と聞いて昨年末、ボラ協の忘年会で行ってみました。

まず、参加者に車いすユーザーもいるので予約する際にお店に段差の確認をしてみました。

すると、「今はついてないけどすぐに作ります!」

店長のまっちゃんさんは即答してく

居酒屋 松風はなれ

むらびと 夢来人

今回ご紹介するのは、戸畑区にある隠れ家のような居酒屋「松風はなれ」

「夢来人(むらびと)」ボランテニア協会(以下ボラ協)は本家「松風」を何度か利用したことがありますが、噂で新しく、はなれ

れました!!

そして当日、お店に行ってみると...



使いやすい手すり♥



13cmの段差もOK!



手作りのスロープ♥

トイレにもさりげなく手すりがありました!

入口に手作りのスロープを作ってくれました。まっちゃんさん、仕事が早い!

★お店からの一言★

障害がある人もない人も高齢の方もすべての方が落ち着いた空間で食事ができ、喜んでくれる場所を提供したいです。

出来ることはしたので段差にスロープを作ることやトイレに手すりをつけることなんて普通です!



仲の良いお友だちやご家族での特別な日に、貸し切りなど、できる限りご要望に応じます。テーブルもイスも可動式なので、貸し切りの際は好きなレイアウトにできますし、大きなモニターもあるのて持ち込みのDVD(発表会)などの鑑賞も可能です!!

店長曰く、

「毎日、新鮮な仕入れをしています。腕に自信はありませんが、仕入れには自信があります(笑)」

店長のまっちゃんさんは見た目は少しワイルドですが、お話しすると、やさしくて出てくる料理のひとつひとつにとっても愛情を感じます。おいしくて、おなかいっぱい幸せになれること間違いありません♥



店長 まっちゃんさん
090-4481-8366(15時以降)
※詳細はお電話でお問い合わせください。

本家「松風」も 超おすすめです!!

広告



SKC 会計グループ

税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務 **グループ会社**

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
<http://www.sakaieiei.co.jp/>

株式会社さかい経営センター 株式会社北九州経理代行センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

福祉のまちづくり ネットワークプロジェクト

(リレーレポート⑭)

「バリアフリー活動との 出会い」

金子 祐二

(225号からの続き)

当時の多目的トイレは有り物の商品を組み合わせただけで、デザインもバラバラで使い勝手も今一つの感が強かった。トータルデザインのトイレが出来ないだろうか？と試行錯誤しトイレ内商品全てを見直した試作品を作り、関係者(ゼネコン、設計事務所、官公庁等)に評価確認を実施し、好評を得ましたが社内に「時期尚早」との判断で発売が10年後になりました。10年後に発売した商品は当時検討した試作品とほぼ同仕様のものでしたので、当時もう少し粘ってTOPへの提言をしていれば!!との後悔が残りました。個別の商品開発としては、『可動手すり』『多目的取

納シート』『オストメイト用具』『小便器用新形状手すり』などをはじめ、数えればキリが有りませんが、当事者の方の協力で改善された商品を発売することができました。様々な商品開発に参画する中で、多目的トイレの便器横設置器具(便器洗浄スリットや紙巻器、非常呼び出しボタン等)の設置基準が作れないだろうか？との発想から業界統一基準の制作という動きに繋がりました。共同研究がスタートし、全国4カ所にて様々な障害をお持ちの当事者の方、多数にご協力頂き、長期間の検証を実施しました。その結果を元に、『便器横壁設置操作系 J I S』として J I S 化に結び付け (J I S S 0 0 2 6)、この J I S 基準が新バリアフリー法に採用され、各地の福祉のまちづくり条例での整備基準へ繋がりました。後には I S O 規格へも繋がりました。国際基準となりました。



楽しかったふうせんバレー!



2020年1月26日(日)戸畑区の「浅生スポーツセンター」でボランティア協会(以下ボラ協)恒例の「みんなの研修会」が開催されました。

前年度の「みんなの研修会」で「みんなスポーツをしよう!」と言う声が上ががり、今回ボラ協から誕生した「ふうせんバレーボール」を研修会の前の交流事業として行いました。

最初に岡田理事長の開催の挨拶があり、その後、ボラ協の宮崎理事が「ふうせんバレー」の誕生のいきさつを話してくださいました。「ふうせんバレー」とは、障害のある人もない人も一緒にプレーできるように考えられていて、年齢を問わず誰でも一緒に参加できます。また、参加者すべてがふうせんに触れてからでないと、相手コートへ返してはいけないルールのため、参加者のうちで自然とコミュニケーションが取れ、人と人の距離を縮め、心と心をつなげることができるとのことです。

参加者は18名、試合は4チームに分かれてとても楽しい時間を過ごしました。

最後に参加した皆さんに感想を伺うと「こんなに楽しいならまたしたいね!」「これを機会に「ふうせんバレー」のチームを作りたい!」「みんなの気持ちが熱くて、短い時間でワンチームになれたような気がしました!!」

【広告】

全ての障がい者の方へ



働 私たち列島会は
全力でサポートします
くよるこびを!

一緒に一般就職を目指しませんか?

当事業所のトレーニングシステム



障がい福祉サービス事業所

就労支援
多機能型

働きたいあなたのやる気をサポートします!!

- 創造館クリエイティブハウス
小さなあわせ スマイクリー各店
(ウェルとばた店・コムシティ店・アレアス店)

就労継続支援 A 型事業・就労継続支援 B 型事業・就労移行支援事業
[住所]北九州市小倉北区大倉1丁目7-25 [電話]093-512-5777
[受付担当窓口/スエヒロ・ハマダ]

- ワークステーション八幡

就労継続支援 A 型事業・就労移行支援事業
[住所]北九州市八幡西区真名子2丁目5-21 [電話]093-616-0456

詳しくはHPをチェック!

列島会 検索 <http://souzoukan.net>



今回はボランティア協会の正会員団体で「北九州要約筆記サークル月曜会」の会長の山下康子さんにお話を伺いました。

北九州要約筆記サークル月曜会(以下月曜会)の活動は

難聴者への公的な派遣制度で認められない(利益・趣味関係等)活動の時の支援です。NPO法人難聴者・中途失聴者協会の交流会等当事者と一緒で啓発活動も行います。第二・第四金曜日に定例で勉強会も行っています。

活動のきっかけは

始めて約二十五年になります。出産後も仕事をしていたのですが、子育てと仕事の両立が難しく、小学校入学のタイミングで退職。手話に興味があり、西部障害者福祉会館で講座を受け、手

話サークルに入りました。

でも「聞こえないとは何?」

手話だけではだめだと思つて、要約筆記奉仕員養成講座終了後にサークルに入りました。書くことは苦手で、活動内容もよくわからずに入ったのですが、尊敬できる先輩や指導者のおかげで続けられました。

苦労話は

話の内容を文字で伝えるのですが、二分間約三百字の話や大事なこと、抜けないように要約することが難しいです。レベルを統一しないといけないので、捨てる所と書く所について養成講座で学びます。一字一句書くことは不可能ですが、難聴者ももう少し内容を知らないと思っているかもしれません。

大切なことは

難聴者は日常生活の中で

の情報量が少なく、地域で活動がしづらい状況です。情報難民にアプローチし、自立を損ねない程度に支援していくことを心がけています。そのためには当事者と接して理解し、寄り添うこと。一緒に活動する姿勢や気持ちが大事です。

聴で聞こえなくなり、ひきこもりがちになっていたので、今はサロンに参加し、筆談を用いて楽しく活動しています。

そのための取り組みは

市民センターに勤め始めたことをきっかけに、市内百三十全ての市民センターを回り、聴覚障害者のコミュニケーション支援は手話だけではなく書くことも有効であり、子どもから高齢者まで「誰でもできる」一番の支援であることを伝えました。館長によっては館内にホワイトボードを設置したり、要約筆記ボランティア講座を開催してくれたりしました。

月曜会の現状と課題は

会員が十二名。需要は多くフル回転で活動しています。当事者は慣れて信頼関係のできている人を希望しますが、対応できる人数が少ないため派遣の調整が大変です。これからどういう方向で活動していくか、考えないといけない時期です。個人的には地域で理解してくれる人を増やしていきたいです。市民センター勤務があと一年ありますが、終了したら月曜会の活動に専念しようと思っています。

趣味は

最近、テニスのラケットを買いました!! スポーツを観戦することも大好きです。

聞き手 森山 幸恵



北九州要約筆記サークル月曜会 会長 山下康子さん

Advertisement for Kusume Animal Clinic. Includes text: 動物の病院 くすめ, 診療時間 午前 9:00~12:00(月~土) 午後 15:00~18:30(月~金) 手術 午後 13:00~15:00(予約制), 診療対象動物: いぬ・ねこ・うさぎ・ハムスター・フェレット・鳥, 093-921-1910, http://www.kusume-ahp.com

「ゆく年 くる年 まごころ募金」
ありがとうございました

赤崎 雅仁 井生 猛志 伊高 幸江 今村 修
 今村 浩司 上永 徹 江頭眞紀子 圓佛 陵子
 大友 征子 大曲千代子 岡崎美智子 岡村 正子
 尾形八重子 鹿子嶋初美 川本美佐子 清原 雅幸
 桑木野加代子 古賀由美子 小林 芳子 定野 陽一
 谷 聡之 中上 泰子 中島 英恵 永井 久子
 西村 邦子 早崎 寿宏 林 広之 増田 恭一
 三ツ廣託規 三村 保子 宮崎 育恵 山田 裕司
 吉武 寿洋 吉本 茂行
 税理士法人エルピーエー 有限会社コア
 さと子の日記広場 NPO 法人福祉事業大輪の花
 障害者支援施設ちづる園 公益財団法人芳賀文化財団
 有限会社羽山商会
 他匿名9名(敬称略)



ご寄付総額
620,500円
(2月末日現在)

年末から実施の「ゆく年 くる年 まごころ募金」に
 たくさんのご寄付をいただきました。会員をはじめ多くの
 皆様がボランティア協会を支えてくださっていることに心
 より感謝申し上げます。
 皆様のお気持ちを大切に、障害のある人もない人も、
 ともに「誰もが暮らしていける社会」をめざして、地域の
 中で役割を果たしていくために使わせていただきます。
 ご支援ありがとうございました。

おめでとうございます!!



北九州ボランティア顕彰式

令和元年12月9日(月)
 公益財団法人 芳賀文化財団より
 「北九州要約筆記サークル月曜会」さんが
 長年のボランティア活動の功績が
 認められ表彰されました。

ボランティア団体
助成金贈呈式

令和2年2月10日(月)
 九州電力生活協同組合より
 社会福祉に貢献したとして
 「ガイドボランティアサークルゆう・あい」さんに
 助成金が贈呈されました。



広告

九州運輸局長指定 民間車検工場

信用モーターズ

大串 信義

車検・点検・钣金・保険・車輛販売・身障者用改造車の代車も有ります。

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳1丁目1-40
 TEL (093) 521-9507 FAX (093) 531-0764

ボランティア登録者について

ボランティア活動情報やイベント・研修等の情報提供を電子メールで受信していただいているボランティア登録者の皆さまへ

【ボランティア活動保険】の更新(R2.3.31で満期)と、次年度の継続更新をお願いします。

この機会に登録者から正会員に変更していただく方も大歓迎です。また、新たな登録者も同時に募集します。



登録希望の方、
お問い合わせは事務局
XLZ02133@nifty.ne.jp まで
ボラ協の最新情報は、
ホームページやフェイスブックに随時
更新しているので、ご覧ください!

ご協力にご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

岩橋由美子 恒成美津江

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

安部 敏子 亀津 和明 公文真理亜 佐野 哉夫

下田 猛 増田 恭一

障害者スポーツセンターアレアス

生き方のデザイン研究所

一般社団法人生命保険協会

竹末市民センター

夜宮青少年センター

○バザー品
日限あけみ

一丁目の元気

新ケミカル商事(株)

永犬丸市民センター

南小倉市民センター

八幡西区役所保護課

協会カレンダー

- 3月 15日(日) 会報226号発行
- 24日(火) 定例理事会
- 4月 26日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会
- 15日(水) 東部障害者福祉会館運営委員会(竹田)
- 22日(水) 社会参加推進センター運営会議(竹田)
- 5月 22日(水) 中間支援組織連絡会(竹田・鈴木)
- 30日(土) 第39回定期総会
- 6月 6日(土) 障害福祉団体連絡協議会定期総会

令和2年度 第39回 定期総会のお知らせ

ボランティア協会の明日を決める大事な総会です。正会員の方でなくてもぜひ、ご参加ください!!

日時
令和2年5月30日(土)
14時00分~16時30分
(受付開始 13:30~)
・事業報告・決算
・事業計画・予算
・研修会

場所
東部障害者福祉会館
研修室 6AB
(戸畑区汐井町1-6)

